

JIS

ファインセラミックスー アセトアルデヒドを用いた可視光応答形光触媒の 完全分解性能試験方法

JIS R 1757 : 2020

(JFCA/JSA)

令和 2 年 10 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
(委員)	秋 山 進	株式会社デンソー (公益社団法人自動車技術会)
	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌 田 実	東京大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木 村 たま代	主婦連合会
	佐 伯 誠 治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈 良 広 一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西 江 勇 二	一般財団法人研友社
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 迩 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 25.2.20 改正：令和 2.10.20

官 報 掲 載 日：令和 2.10.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ファインセラミックス協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 1-2-6 ランドマーク芝公園 TEL 03-3431-8271)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	3
5 装置	3
6 試験体	4
7 試験方法	4
7.1 一般	4
7.2 光照射容器及び光源の準備	5
7.3 試験体の前処理	5
7.4 アセトアルデヒド分解試験	5
8 試験結果の計算	7
8.1 一般	7
8.2 二酸化炭素濃度	7
8.3 測定の終点	7
8.4 完全分解の判定	7
8.5 完全分解までの時間	9
9 試験結果の報告	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
解 説	14

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ファインセラミックス協会（JFCA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS R 1757:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

ファインセラミックスーアセトアルデヒドを用いた 可視光応答形光触媒の完全分解性能試験方法

Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)—
Test method of complete decomposition by photocatalytic materials
under indoor lighting environment—Decomposition of acetaldehyde

序文

この規格は、2018年に第1版として発行された **ISO 19652** を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、室内環境などが可視光照射される条件での可視光応答形光触媒がもつアセトアルデヒドを完全分解する性能を試験する方法について規定する。この規格は、主として二酸化チタン、三酸化タンゲステン、その他のセラミック材料からなる金属酸化物半導体である光触媒のうち、粉状のものに適用する。

この規格は、フィルム状、平板状、その他の板状の光触媒材料には適用しない。また、この規格は、水質浄化、セルフクリーニング、防曇、抗菌、抗かび、抗ウイルスなどのその他の光触媒材料が発現する他の機能については適用しない。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 19652:2018, Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)—Test method for complete decomposition performance of semiconducting photocatalytic materials under indoor lighting environment—Decomposition of acetaldehyde (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 1609-1 照度計 第1部：一般計量器

JIS K 0055 ガス分析装置校正方法通則

JIS K 0114 ガスクロマトグラフィー通則

JIS K 0151 赤外線ガス分析計